

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	燃費がいい家研究会				
H30採択グループ番号	07	—	0009	—	0665

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	地域の特色を活かした快適で健康的な暮らしの実現を目指し、断熱・気密性能を高め温度差の少ない健康省エネ住宅を供給することを旨とした。 霊峰石鎚山を頂点とする四国山地の清らかな水と瀬戸内のさんさんと降り注ぐ太陽により、健全で豊かな森から作り出された「すくすくまっすぐえひめの木」と題した「暖すぎ・暖ひのき」等の愛媛県産材を活用して、地域に貢献した。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/07	名称	燃費がいい家研究会 平成30年度地域型住宅グリーン化事業説明会		
	内容	地域型住宅グリーン化事業の趣旨・事業の概要等の説明 当グループの事業に対する取組の説明 補助金の配分及び交付申請書・実績報告書の記入説明						
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/09/12	名称	平成30年建築基準法改正の解説と中大規模木造建築	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/04/04	名称	北海道住宅視察とオーガニック商品工場見学	タイプ	見学会
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	事務局及びグループ内設計事務所よりサポート及びアドバイス。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	経験のない工務店に対し、外皮計算・省エネ計算の代行。申請代行のサービス提供を提案。						
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	4	発行予定	10
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	プロパティオン(株)いえかるて	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	グループ内で会合を行い代表のグループ構成員でメンテナンスを行う。						
② H30年度における施工構成員の廃業	無						
対応内容							

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有						
内容	地域の特色を活かした快適で健康的な暮らしの実現を目指し、断熱・気密性能を高め温度差の少ない健康省エネ住宅を供給する。 断熱・気密工事の施工のバラつきをなくすため、施工研修(電気・給排水設備業者を含む)を行い、断熱検査を実施する。 高効率エアコン・高効率温水器・節水水栓・断熱浴槽・LED照明等を推奨する。						
省エネ化に対する取組 ②							
内容							
BELS工務店の登録数	3 社						

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	燃費がいい家研究会			
H30採択グループ番号	07	—	0009	— 0665

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/16	名称	燃費がいい家研究会 平成31年度地域型住宅グリーン化事業説明会		
	内容	地域型住宅グリーン化事業の趣旨・事業の概要等の説明 当グループの事業に対する取組の説明 補助金の配分及び交付申請書・実績報告書の記入説明						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/07/16	名称	燃費がいい家研究会		
	内容	グループSNS・構成員ホームページにて地域型住宅グリーン化事業の説明・構成員の紹介。						
	消費者説明会 2	有	開催日		名称	現場見学会		
	内容	各工務店の現場見学会に於いて、健康省エネ住宅の訴求・説明を実施。						
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日		名称	断熱施工研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	事務局及びグループ内設計事務所よりサポート及びアドバイス。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	経験のない工務店に対し、外皮計算・省エネ計算の代行。申請代行のサービス提供を提案。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	プロパティオン(株)いえかるて
------------	----------	-----	-----------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	グループ内で会合を行い代表のグループ構成員でメンテナンスを行う。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	地域の特色を活かした快適で健康的な暮らしの実現を目指し、断熱・気密性能を高め温度差の少ない健康省エネ住宅を供給する。 断熱・気密工事の施工精度を上げる為、施工研修(電気・給排水設備業者を含む)を行い、断熱検査を実施する。 高効率エアコン・高効率温水器・節水水栓・断熱浴槽・LED照明等の採用を推奨する。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	インスペクションを実施し、改修前・改修後の外皮性能を数値化する。 壁内結露に注視した設計とし、断熱・気密・気流止め等の施工精度を上げる。 高効率エアコン・高効率温水器・節水水栓・断熱浴槽・LED照明等の採用を推奨する。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日				
内容	高气密・高断熱化・省エネルギー機器採用によるコストシュミレーション提案					
研修計画 ②		実施日				
内容						

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	燃費がいい家研究会				
H30採択グループ番号	07	—	0009	—	0665

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	温暖な地域といわれている愛媛県だが、家庭内におけるヒートショックで死亡する率が多い。そのためにも断熱・気密性能を重視した、屋内が温度差の少ない健康省エネ住宅とする。 愛媛県は森林が多く(森林率71%)人工林率が61%であることから全国でも有数の林業県であり、ひのき素材生産量は全国3位、すぎ素材生産量は全国12位である。 その愛媛のブランド材である「媛すぎ・媛ひのき」等を活用した地域に密着した住宅とする。 また主要構造材を地元愛媛県のJAS認定工場より出荷されたものを基本とする。 あわせて、合法木材・合法木材製品を普及させるため、合法木材証明を活用する。	●
----	---	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明						
主要構造材	土台	有	主要構造材において、過半を愛媛県産材とする。 羽柄材(間柱・野縁・胴縁)は愛媛県産材を100%使用する。				
	柱	有					
	梁・桁等の横架材等	有					
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有					
造作材	枠材、廻縁等	無					
板材	壁板、床板等	無					

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	特に合法木材普及に向け、事業者認定を受け合法木材を扱う製材所製品を推進。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	グループ構成員の関係を密にし、それぞれの工務店が採用している資材・建材等の情報交換に努め、同等の性能を有する物などは部材統一を図り資材の安定供給・仕入れコスト削減に努める。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	定例会時にプレカット・製材業者等も参加していただき、情報を共有する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	施工精度を上げるためにも断熱検査を実施し、職人のレベルアップを図る。 気密測定の実施を推奨する。隙間相当面積C値を2cm/m ² 以下になる様、施工を目指す。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	「お家の誕生日」など定期訪問を兼ねた定期点検を実施する。 長期優良住宅の維持管理計画書と同様な計画書を、高度省エネ型にも適用する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	断熱施工検査の実施。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	業界用語を用いずお施主様に分かりやすい記載をする。 見積書において、建材・什器についてはメーカー名・品番・定価を明示する。 木材については、木材明細を添付する。	
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	工程計画の無理を無くし、現場職方に至るまで、適正な休暇が取得できるように努める。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	高齢技能者に若手の育成・指導を行ってもらう。
③ 社会保険への加入	有	内容	職人、特に大工の社員化を推奨する。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	年に一度は健康診断を受診する。 安全大会を開き、安全に対する認識を深める。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	燃費がいい家研究会				
H30採択グループ番号	07	—	0009	—	0665

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	無	内容	
② 和瓦の活用	有	内容	愛媛の産業である「菊間瓦」(タイル)を採用することを推奨する。
③ 襖・障子の活用	無	内容	
④ 地域の伝統的素材の活用	無	内容	

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	景観の計画については、地域(市町村)によって特色がある。市町村の景観計画に合わせて地域の特性を活かした「まちづくり」を具体的に表現していくための計画をし、各地域での快適な暮らしの実現を目指す。
② 地域の住まい方の継承	無	内容	
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	松山市の「緑のまちづくり計画」に習って、松山市以外の地域にも2m以上の植樹をする。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	
災害時、応急仮設住宅等の資材の調達をスムーズに行えるように体制を構築する。	
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	
構成員で協力し地域で危険物などの撤去に協力する。	